

NPO 純正律音楽研究会会報 ～2016年5月発行～

# ひびきジャーナル



〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3-2-5-102 Tel:03-5317-0291  
Fax:03-5317-0289 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 平成28年5月11日  
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会  
編集 相坂政夫

## No.48



新緑の季節、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

3月27日「玉木宏樹メモリアルコンサート」には多くの方々にご来場いただき誠にありがとうございました。次回コンサートは9月17日土曜日、新宿文化センター・小ホールにて開催いたします。是非ご来場ください。

さて、会報「ひびきジャーナル」は今月で48号になり、丸12年が経過いたしました。これも会員の皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。これからも純正律音楽を多くの方々にご知っていただけるよう活動してまいります。

また、前号でお知らせいたしましたCDリリースの件、録音が終了し、デザインやマスター制作に入っております。完成は6月末頃の予定です。

5月末頃まで、協賛して下さる方々を募集いたしております。

皆様方のご支援、よろしくお願い申し上げます。

## レコーディングに旅行にコンサートざんまい

洗足音楽大学教授・ヴァイオリニスト  
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表  
水野佐知香

ゴールデンウィーク皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか？

熊本地震には本当にびっくりいたしました。

実は今年3月末、母の兄弟達と9人で珍道中。島原から佐賀の姫野にある椎葉山荘に泊まり、佐賀の呼子の河太郎で透明なイカを食べたり、炭鉱主で大成功した旧高取邸を見たり、由布院へ行ったり。九州自動車道路を駆使してあちらこちらと、高齢者達が運転をして旅行を楽しみました。

その2週間後、あのようなことがあるとは！TVで見ると、私たちが通った道や駅舎のガラスが落ち、出入り禁止になった由布院駅、また、土砂崩れにあったログハウス、以前母達が泊まってとても良かったのに、とショックを隠しきれません。

私の母は実家が島原近くにあることから、戦争で疎開してそのまま家族で雲仙の近くに住んでしまったようです。

その母曰く「ちょうど100年ほど前に島原近くで大地震があり、野原で私の母たちが生活をしていた写真を見たことがある」と。

やはり昔、九州でも地震があったのですね。

被災された方、遺族の方、本当に大変だと思います。

純正律音楽研究会でも、東日本大震災の時に玉木さんがしていたように活動ができればと思っております。

お箏の吉原佐知子さんのご主人は音楽教育の専門でいらっしゃいますが、今年度から熊本大学の専任になられて、お引越されたばかりでした。大学もゴールデンウィーク明けから授業が始まり、彼のお住まいも大丈夫だということではホッとしましたが、本当に心配です。

先ほど話に出てきました私の祖母ですが、この田舎で育ちましたが、先日まで放映されていましたが「あさが来た」にある日本女子大に入学、結婚するまで2、3年勉強していたようです。

その後歯医者で御典医をしていた許婚の島原出身の祖父と結婚をして疎開するまで目黒に住んでいたようです。面白い親戚もいたようで、数学学者の岡潔先生のお世話をしていたり、島原に愛野町(あいのちょう)という町がありますが、「愛の町」(あいのまち)と読み方を変えて世の中へアピールをしたり、その愛の町に愛の町の名付け親である私のはとこの祖父の銅像が建っていたり、母の兄弟達と私のルーツを知る良い機会にも恵まれました。

新学期がはじまって、すぐ12年ぶりに熱を出し2日間寝込みました。この年になるとどうも寝込んだことでぎっくり腰になるしで、また学びました（笑）最近手術をしても、お産をしても「すぐ動きなさい！」と言われる意味がわかったような気がします。

やはり人間動いているのがよいようです。細胞は常に活性化をしているし、以前、野口整体の野口晴哉先生もよくおっしゃっていました。

「人間は必要な動きをするのです。」

「寝相は悪いほど活元運動をして身体を整えているのです。」

「風邪の熱はお掃除です。熱は高いほどよいのです。熱を出し切った後が大切です。出ているときは大丈夫です。」

「お腹が痛いときはお腹に手を当てて身体を丸めるでしょう。これが人間の本能で治そうとすることです。」

などなど、今回は晴哉先生のお話を思い出しました。

さて、この本能を磨くのに必要なのは美しいハーモニー、やはりこの純正律音楽研究会の活動が大切になってくるのでは！と実感いたしました。

この3月には新しいCDのレコーディングをふじさんホールで行ってきました。富士山を目の前にした響きの素晴らしいホールで、みだれ髪、モーツァルトの子守唄、真っ赤な太陽などの曲を思い切りヴァイオリンで唄いました。出来上がりが楽しみです。

その後、このレコーディングをした曲も含め、台湾からお客様もいらした琵琶湖の北のほりでのサロンコンサート、横浜の教育委員会主催の小学校の先生方への杉田劇場でのコンサートを終えてきました。

琵琶湖のほりでのコンサートは、いろいろな関係でハーブの三宅さんとのコンサートでしたが、大喝采！台湾の方も大喜び！日本の曲よくご存じなのですね。台湾でのコンサートが実現できることを祈りつつ。

杉田劇場には吉原さんもご一緒、いつもの三人官女で行って参りました。音楽の先生方がお客様でしたが、この3つの楽器の取り合わせの素敵さを実感され、もうすでに問い合わせとコンサート以来が沢山きているようです。今年は九州の桜に続き、川崎、横浜、東京、琵琶湖といろいろな桜を楽しむことができました。

日本列島、地震は必ず起こると言われています。どうぞ皆さま、純正律音楽研究会のCDをいっぱい聴かれて感性を磨いてくださいませ！

少し自慢をさせてください。

昨日、かながわ音楽コンクールがありました。1位から4位まで私の生徒さん達でした。

よく頑張ってくれています。

私も精進しまーす。

## ムッシュ黒木の純正律講座 第47時限目

### 平均律普及の思想的背景について(36)

純正律音楽研究会理事 黒木朋興

今回は、モダン以前の時代においては、公的な基準が芸術の価値を決めていたという話をした。

対して、モダン芸術は個人がそれぞれの内面で感じ判断したことが芸術の価値を決めるようになる。絵画でも音楽でもある作品に接し、他の誰かが駄作だときき下ろしたとしても、自分が良いと思ったのなら少なくとも自分にとってその作品は芸術である、あるいは、ある時自分の中に得も言われぬ感情が沸き起こり、その心の動きの赴くままに叫んだりノートに何かを描き殴ったりしたものも一つの芸術である、といった主張について考えてみよう。前者の場合作品の受け手の内面が、そして後者の場合作品の発信者の内面が俎上に上がっている。いずれにせよ一個人の内面の判断が芸術的価値を決めていることになる。

モダンの価値観から言えば、確かにこれらは芸術作品あるいは芸術的行為と見なされ得る。しかし、これは実のところ、人類の歴史の中でごく最近に発生した考え方であり、人間の文明を作り上げた時からずっと変わらずある考え方ではなく、つまり人類にとって普遍的な考えだとは言いがたいのだ。

では、そのようなモダン芸術とはどのようにして生まれたのだろうか？ できるだけ過去にまで遡ろうと思えば、ひょっとすれば古代ギリシアの哲学者の中にその起源を見出すことも不可能ではないかも知れない。しかし、ここではとりあえず、17世紀フランスの哲学者デカルトを出発点としてみたい。というのは、デカルトは『情念論』において、個人の内面の「情念＝パッション」を哲学の俎上にあげた最初の思想家であると見なせるからである。デカルトと言えば、「コギト・エルゴ・スム／我思うゆえに我あり」というモダンの時代の礎となった原理を打ち立てた哲学者として有名である。どんなに正しく見える定理であろうと、もしかすると悪い神に騙されてそう見えるに過ぎないのかもしれない、そう考えるとこの世のもの全てが疑わしく思えるのだが、そうではあってもこの問題について自分が頭を悩ませ思考していることだけは確実であり、すなわち真とみなせる、という原理である。やがて、これを基にした哲学が神を乗り越え民主主義を成立させたモダンという時代を創り出すことになることを言うておく。となれば、個人の内面の思考なり情念なりからモダンが発したと言うことができ、その意味で個人がそれぞれの内面で感じ判断したことが芸術の価値を決めることとなったモダン芸術のあり方の起源として、デカルトの名前を挙げても、あながち的外れなことではないということが分かるだろう。

ただ、デカルト自身は神を否定していない。それどころか彼の哲学の目的は、神の存在証明であったことを言添えておく。その意味で、デカルトの時代はまだモダンには程遠かったのだ。そのことを理解するために、今回は、パスカルの信仰に関する逸話を述べてみたい。

## 遺作小説 ピッチ四四二

玉木宏樹 遺作

妙な動物におそわれる気配にハッと目ざめると、足もとで猫が鳴いている。たった二件の仕事だけで疲れはて、電車に乗ったとたん眠りこんでしまったらしい。足もとで鳴いているのは、猫ではなく電車だった。

この沿線に投入された新車は、本当によく鳴くのだ。どこの誰か、よく分らぬ設計者によってチューニングされたその鳴き声は、猫よりもひとまわり大きそうな感じだった。

最初、この音に驚いた雄一は駅員に、電車の下で猫が鳴いていると言ったことがある。駅員は「ご心配ありがとうございます」と礼をいいながら、新車の空気バネのゆるみの音なので何の問題もないと答えた。雄一は腑に落ちなかった。じゃ、なぜ犬や馬じゃなく猫にしたんだ……誰の趣味なんだ……。

仕事に疲れ、ピッチばかりが気になる耳には、電車の鳴き声を音符にあらわせないのが実にもどかしい。だいたい上の「レ」から下の「ラ」フラットまでの増四度の間隔なのだが、音符には書きようがないのだ。

頭の芯に重い耳鳴りをかかえたまま改札口を通り、踏みきりで通過電車を待つ。両側でカンカンと鳴る警報のピッチ、こちらが「シ」のフラットで向うが「ド」のやや低め、リズムはこちらが一分間に約一四〇、向うが約一一〇、これだって、誰かの意思決定が反映しているはずなのだ。

踏みきりからしばらく行くと大きな交差点。横断歩道では、盲人用「通りゃんせ」のメロディが、休止符のない無気味な自動演奏で、道行く人を不安にさせる。これまた、なぜか少し低めの二短調。どうせ警察かセンスのない役所の間にあわせ仕事なのだろう。こういう無神経なピッチ設定は、体調をくずした今の雄一にはひどくこたえるのだ。

一種の音程ノイローゼなのだとは自嘲しつつ、思い切った逆療法とばかり、特にさわがしいパチンコ屋を選んで入る。

最近のパチンコ店は、昔のような「軍艦マーチ」一色ではなくなった。オールセヴンなどのワヤワヤワヤという電子音のにぎやかさだけで音響効果が満たされるようになったのかもしれない。

昔のパチンコはいかに穴に入れるかが勝負だったが、今はちがう。大音響をとまった大排泄が売りものとなったのだ。台のサマがわりが女性客を増やしたといわれているが、結構、深層心理の影響もあるのかもしれない。

雄一の千円は五分もかけながら一度も鳴かなかったが、両隣はワッセワッセと大排泄のお祭さわぎ。しばらくその音に聴覚をシンクロさせていると、いつしか耳鳴りを超越したようだった。

外へ出ると久し振りに軽い気分を取り戻していた。逆療法が効いたらしい。

暮れ行く街の種々雑多な音に自己同一する快感を帯びながら、雄一は自宅へ向った。

CD レビュー 純正茶寮

『PYRAMID 破壊の記憶の走馬灯』

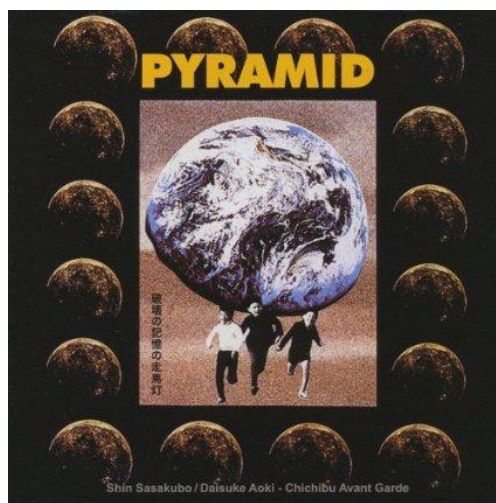
純正律音楽研究会理事 黒木朋興

『PYRAMID 破壊の記憶の走馬灯』

笹久保 伸 / 青木 大輔 = 秩父前衛派

レーベル: CHICHIBU LABEL

ASIN: B0148526AY



最近知り合ったギタリスト笹久保 伸氏の作品。現代音楽にペルーのフォークロアを取り入れ、さらに郷里である秩父をテーマに音楽活動が続けるアーティストである。

ギターということもあり、純正律ものではない。ギターは四度を中心に調弦をするが、三度が混じるために純正律にはならない楽器だ（私の考案した純正律ギターはむちゃくちゃ変則的な例外中の例外）。

しかし、純正律ではないにもかかわらず、このアルバムは紹介する価値のある作品だろう。実のところ、これは純粋な音楽作品ではなく、映画のサントラ盤である。その映画とは笹久保氏自身が監督を務める『PYRAMID』である。この映画は、セメントを採掘されるために頂が無残にも削られた秩父の信仰の中心にある武甲山をテーマとしている。映画も素晴らしいが、その映画のサントラ盤でもある本作品も、映画とは切り離して音楽として聞いても傑作と呼べる仕上がりになっている。作品としてテーマがしっかりしているのが成功の要因だろう。

かつて玉木さんと芸術作品について話したことを思い出した。純正律そのものはいくらきれいでも和音自体は単なる音響現象にしか過ぎない。その音響現象をいかに使って作品とするかが、芸術としての価値を決めることになる、と。

その意味で、笹久保氏のこの作品は、たとえ純正律音楽ではなくても、ここで紹介する価値のある音楽だということになるだろう。

## 租税回避地(タックスヘイブン)について

純正律音楽研究会 正会員  
弁護士 齋藤昌男

1. オフショア企業の設立を専門とするパナマの法律事務所モサック・フオンセカから所謂パナマ文書が流出した報道がなされたのは、2016年4月3日の事である。マーチンデール（世界的な法律事務所のディレクター）によれば、同事務所は1977年設立の比較的新しい法律事務所である。ディレクターによれば、国外の金融センターとして、パナマ、英領ヴァージン諸島、バハマ、セイシェルズ、サモア、英国自治領のアンギラを取り扱うとの事である。
2. 「パナマ・ペーパーズ」と名付けられたこの文書は、40年近い期間をカバーする1150万点の文書で、文庫本にしたら2万6000冊、デジタルカメラで撮影した写真で65万枚にも及び、法人数は約21万件、関係のある国や地域は204にも及ぶ。
3. こんなものがどうやって盗めたのか。法律事務所のデータセンターは「最新鋭」で、暗号化アルゴリズム（計算手法）は、「世界最高クラス」だそうである。しかし、人間が作った暗号は、結局、人間が破る事が出来る。法律事務所は、ハッカーにやられたと言っているそうである。
4. 2015年の初め、ドイツ・ミュンヘンに本拠を置く「南ドイツ新聞」に、John Doe（名前を伏せている男性に用いられる仮名）なる人物からメールが届いた。その人物が提供した資料がパナマ文書である。「南ドイツ新聞」は、発行部数40万部超で、ドイツの高級紙である。しかし、有力紙でも、これ程のデータは手に余る。そこで、この資料を60カ国以上のジャーナリストが参加する報道機関「国際調査報道ジャーナリスト連合」（ICIJ）に解明依頼したのである。そしてICIJが1年に及ぶ調査によってパナマ文書の解明をしたものである。
5. 今回の報道を見て、アメリカ人が一人も入っていないのは何故と思われた人は少なくないと思う。これには理由がある。

アメリカで2014年に「外国口座税務コンプライアンス法（FATCA）」が施行され、米企業や個人が外国に持っている金融口座の情報は、各国税務当局から米国歳入庁（IRS）に通報されるようになった。パナマ文書は、この流れの中で発覚したものだ、とも言われている。「外国口座税務コンプライアンス法」によって、アメリカ人が海外の金融口座に持っている金員については、米国歳入庁は一応把握しているから、公開の必要はないと判断したと言う事であろう。
6. では日本ではどうか。今回は、日本人は一切公表されていないが、パナマ文書には日本人の名前が約400名出ているそうである。日本の税法では、毎年確定申告の際に、外国に5,000万円以上の財産を持つ人に、それらをリスト

アップする「国外財産調書」の提出義務がある。国税庁によると2014年分は約8千人が提出し、財産総額は3兆円を超えたが、提出していない人もいる様である。税務当局が、パナマ文書に掲載されている約400名の名前を把握し、調査したら、どうなるのであろうか。その上、租税回避を取り扱っている法律事務所は、モサック・フォンセカだけではないのであるから、今後議論を呼ぶであろう。

7. 租税回避は、個人だけの問題ではない。最近の有名な例は、米医薬大手ファイザー(所謂バイアグラを販売している会社である)がある。ファイザーは、アイルランドの医薬大手アラガンと合併して、法人税率が12.5パーセントと米国より低いアイルランドに本拠を移し、税負担を減ずる狙いを持っていた。法人税率の低い国に本社を移転する目的のM&R(合併・買収)はタックスインバージョン(租税地変換)と呼ばれ、これまでも批判が強かった。ファイザーのケースは、オバマ大統領も批判していた事もあって、米財務省が節税規則強化をしたため、ファイザーはアラガンの買収を断念した。このニュースは、パナマ文書の報道の直後、4月6日に流された。

8. 2008年のことであった。香港の弁護士から、ケイマン諸島にある法人を株主として、日本に会社を設立してほしいとの依頼があった。ケイマン諸島の法人の株主は誰かと聞いたところ、香港の上場会社であり、その会社は北京にいる将官の夫人が設立し、上場したと言う。

ケイマン諸島と言えば、英領ヴァージン諸島、バミューダ、バハマと共に、カリブ海4大タックスヘイブンの一つであり、世界のヘッジファンド業界の52%が本拠を置いており、特にケイマン諸島は、世界のヘッジファンド業界の35%が所在していると言う。ヘッジファンド以外にも世界の大企業がケイマン諸島に置かれている。しかし、ロゴ、職員、受付がいる筈のオフィスの物理的存在は見当らない。

さて筆者が設立手続を行った日本法人であるが、半蔵門の界隈に事務所を設け、元商社マンを初めとして10名前後の人を集め、帝国ホテルでレセプションを行い、派手に動き出した。また、自分達や従業員のために、マンションを3室買った。会社の目的は、非化学肥料の東南アジアへの輸出と、日本の農産物の香港等への輸出であった。当時、千葉県知事は、女性であったが、この日本法人の実質上のオーナーの中国人の女性は意気投合して、千葉産の農産物を東南アジアへ売ると言う。

しかし、倒れるのも早かった。半年あまりどの商談もまとまらなかった。突如、香港の会社へ金を出した債権者が破産を申し立てた。日本では、実質的な取引は何もなかったので、清算手続は簡単であった。中国の高官の殆んどは、外国へ投資をしているそうであるが、この例はその一つかもしれない。

9. 租税回避と良く似た問題に便宜置籍船(べんぎちせきせん、flag of convenience ship)と言うのがある。実はこの分野でもパナマは世界一である。船にも人間と同じ様に国籍があり、登録した国の法律によって制約と保護を受ける。しかし、その内容は国によってまちまちであり、より有利な条件を持つ国に便宜的に船籍を移す事を便宜置籍と言ひ、その登記が出来る国を便宜置籍国といい、世界に30ヶ国弱ある。登録数の第1はパナマであり、およそ世界



の船の5分の1がパナマ船籍であり、第2位がリベリアでおよそ12.5%がリベリア船籍である。なかには、海岸線を領土にもたない内陸国であるモンゴル国やボリビアも便宜置籍船国である。

10. 少々古い話であるが、1970年代の後半、リベリアの船籍登録事務所が東京赤坂に事務所を持っていた。筆者は外資系銀行の依頼で、良くこの事務所に出入っていた。当時、有名なS汽船がタンカーを外資系の会社に売って、同時にS汽船が傭船契約（チャーター）をした。S汽船の担当者は、絶対に秘密にしてくれと言う。S汽船は、何隻かを売ってチャーターをしたら、突然、倒産した。お金がなかったから、タンカーを売却し傭船契約をしていたのである。
11. その頃、外資系銀行の紹介で一人のアメリカ人が現れた。リベリアに会社を5つ設立してくれとの事であった。4つの会社に、タンカーを1隻ずつ持たせ、5番目の会社を4つの会社の持株会社とするという。当時は、まだメールではなく、テレックスの時代であったが、資本金の振込もいらず、僅か1週間位で、5つの会社は出来てしまった。
12. タックスヘイブンは、何が問題か。
  - (1) タックスヘイブンとは、一般には、税金が存在しないか、あるいは極めて低い国・地域を指すとされる。しかし、定義としては、これだけでは十分でない。経済協力開発機構（OECD）の「有害な租税競争」報告書（1998年）は、タックスヘイブンの条件として4点を挙げている。即ち、①無税または名目的課税、②実効性ある情報交換の欠如、③透明性の欠如、④実質的な経済活動の欠如、である。タックスヘイブンであるかどうかは、税負担の低さに加え透明性の欠如の問題とされているのである。
  - (2) パナマ文書に書かれている案件では多くの場合、「お雇い名義人」の陰に隠れ、真の所有者が表に出てこない正体不明のペーパーカンパニーが絡んでいる。こうしたペーパーカンパニーは、脱税やマネーロンダリング（資金洗浄）に手を染める人や不正を働いた政府関係者の「逃走車」のような役割を果たす。この様にタックスヘイブンの基本的な問題は、資産に関する情報と、その資産を保有して所得を得る納税者に関する情報を分断してしまうことにある。問題解決のためには、タックスヘイブンを含めた各国の課税当局間での情報交換を推進する必要がある。
  - (3) 極端な例を挙げて見よう。「父親が息子に相続税を支払わせたくない場合、生前にタックスヘイブンに会社を作り、そこに自分の資産を入れておく。死後、その会社を息子が引き継げば、相続税を支払うことなく、資産は息子へ行く。」タックスヘイブンに会社を設立すれば、法人税などあらゆる税金が掛からず、決算を報告する必要もないため、事務手数料を支払うだけだから、資産は殆んど目減りしない。
  - (4) タックスヘイブンは、節税なのか、脱税なのか、あるいは租税回避なのか。ポイントは、「迂回措置を取り本国で申告義務がないように装えば脱税に当たる。」先程の例はどうか。明らかに本国で申告義務がない様になっているから脱税に当たる。しかし、この状態を税務当局が察知する制度を作る必要がある。
13. タックスヘイブンの問題をどう解決するか。

- (1) 今まで情報共有に慎重であったパナマが、2016年4月19日、大統領が会見をし、2018年までに銀行口座情報の共有の枠組みに参加することを表明した。しかし、何故かパナマは2国間で情報を交換する体制とやっている。2014年にOECDが採択した「共通報告基準（CRS）」の枠組みは多国間での情報共有を想定している。パナマに拠点を置く中南米の多くの金融機関から、どれだけの情報を得られるのかは、全く未知数である。
- (2) 2016年4月14日及び15日に開かれた主要20カ国・地域（G20）財務省・中央銀行総裁会議では、各国に課税逃れを防ぐ国際的なルールに取り組むよう求め、非協力的な国には制裁措置も辞さない方針で一致した。
- (3) 2016年4月19日、国際通貨基金（IMF）、世界銀行、国際連合、経済協力開発機構（OECD）は、税をめぐる問題で途上国を支援する新たな枠組みの概要を公表した。
- (4) 2016年5月にはG7サミット（伊勢志摩サミット）が開催される。日本は議長国を務めるのであるから、世界の景気の問題だけでなく、国際的な税逃れの問題に切り込む事を期待したい。

以上

(2016年4月25日 脱稿)

#### (別表) 世界のタックスヘイブン

(作品社発行、タックスヘイブンの89ページ以下に、過去30年のタックスヘイブンに関する11の刊行物に掲載されたリストをまとめたリストが載っている。驚くべきことに91地域があるが、その内36位まで紹介する。但し、英文名、地域の紹介は、ウィキペディア等を参考に筆者がつけたものである)

1	バハマ	Common-wealth of Bahama	西インド諸島のバハマ諸島を領有する国家。英語圏に属し、イギリス連邦の加盟国であると同時に英連邦王国の一國たる立憲
---	-----	-------------------------	----------------------------------------------------------

2	バミューダ	Bermuda	<p>         君主制国家ある諸島国でありの海峽領土          であり、北西にアメリカの海峽領土の中で半島          治的南経済的な自立度が南東に金融部門存          観光産業首都はられ、そのプロ2005年に島の          ナ火当たり1970年が\$70,40から独立世界で       </p>
---	-------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			最も高い数値を記録した。2010年には、首都ハミルトンが世界第34位の金融センターと評価されている。バミューダ半ズボンも有名。
3	ケイマン諸島	Cayman Islands	キューバの南方に位置する西インド諸島を構成する諸島の一つ。イギリスの海外領土であり、グランドケイマン島、ケイマンブラック島、リトルケイマン島の3島からなる。人口は57,570人(2012年)で、首都はジョージタウン。
4	ガーンジー島	Bailiwick of Guernsey	ガーンジーは、イギリス海峡のチャンネル諸島に位置するイギリス王室属領(Crown dependencies)である。首都はセント・ピーター・ポート。 ガーンジーは、ガーンジー島のほか、オルダニー島、サーク島、ハーム島、ブレッシユ島、ジェソー島などの小島を含む。
5	ジャージー島	Bailiwick of Jersey	ジャージー代官管轄区は、イギリス海峡のチャンネル諸島のうち、ジャージー島のほかマンキエ諸島(the Minquiers)やエクレウ諸島(the Ecrehous)などにより構成されるイギリス王室属領(Crown dependencies)である。主都はセント・ヘリア。
6	マルタ	Republic of Malta	イタリア・シチリア島の南に位置する。面積は316km <sup>2</sup> で、東京23区の面積622.99km <sup>2</sup> の半分の大きさである。 カルタゴ、共和政ローマ時代に既に地中海貿易で繁栄し、その後一時イスラム帝国の支配に入ったこともある。それに抵抗して戦ったマルタ騎士団がこの土地の名前を有名にした。 小型犬のマルチーズの発祥の地であり、マルチーズの名はマルタに由来する。 1964年イギリスから独立。首都バレッタ。
7	パナマ	Panama	北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の境に位置する共和制国家である。北西にコスタリカと、南東にコロンビアに接し、北はカリブ海に、南は太平洋に面する。1903年にコロンビアから分離独立。首都はパナマ市。
8	バルバドス	Barbados	バルバドスは、カリブ海、西インド諸島内の小アンティル諸島東端に位置する。英連邦王国の一国たる立憲君主制国家である。島国であり、島全体が珊瑚礁で出来ている。海を隔てて約200kmの北西にセントルシ

			ア、西にセントビンセント・グレナディーン、南西にグレナダとトリニダード・トバゴが存在する。1966年イギリスから独立。首都はブリッジタウン。
9	英領ヴァージン諸島	British Virgin Islands (BVI)	カリブ海の西インド諸島にあるイギリスの自治領。ヴァージン諸島の東側半分、西側はアメリカ領ヴァージン諸島。東には英領アンギラがある。首都ロードタウン。
10	キプロス	Kypros	地中海の東部にあるキプロス島を領土とする共和国。1960年独立。首都ニコシア。
11	マン島	Isle of Man 又は Mann	グレートブリテン島とアイルランド島に囲まれたアイリッシュ海の中央に位置する島。首都はダグラス。マン島は法的にはグレートブリテンおよび北アイルランド連合王国の一部でもなく、また主権国家でないためイギリス連邦 (Commonwealth) の加盟国ではなく、自治権を持ったイギリスの王室属領 (Crown dependency) である。
12	リヒテンシュタイン	Liechtenstein	ヨーロッパ中部、アルプス山脈中の、スイスとオーストリアに囲まれた小さな内陸国。首都ファドゥーツ、人口3万人。脱税は刑事罰ではなく民事罰となっている。
13	オランダ領アンティル諸島	Netherlands Antilles	大アンティル諸島と小アンティル諸島からなり、そのなかのオランダ領。アメリカとオランダの租税条約で、芸能関係の著作権につき優遇措置があり、アメリカの芸能人が良く使う。首都ウィレムスタット。
14	バヌアツ	Vanuatu	バヌアツ共和国は、南太平洋のシェパード諸島の火山島上に位置する共和制国家である。西にオーストラリア、北にソロモン諸島、東にフィジー、南にフランス海外領土のニューカレドニアがある。イギリス連邦加盟国。
15	ジブラルタル	Gibraltar	イベリア半島南端の港湾都市。1713年以来イギリス直轄植民地。地中海の西口を扼する要衝。
16	香港	Hong Kong	2014年11月にアメリカのダウ・ジョーンズなどが公表した国際金融センターランキングにおいて、ニューヨーク、ロンドン、東京、シンガポールに次ぐ、世界5位と評価された。また、イギリスのシンクタンクZ/Yenグループが2013年3月に公表した金融センターランキングにおいても、ロンドン、ニューヨークに次ぐ世界3位と評価された

17	シンガポール	Singapore	法人税と個人所得税の両方は、ほかの多くの国と同様に累進課税方式を採っている。住民税や事業税のような地方税は存在せず、すべて国税となる。シンガポールは政策的に低い税率と大胆な税制優遇を打ち出していることで知られ、同国への外資企業への誘致に重要な役目を果たしている。2014年度の個人への税率で日本と比較すると、例えば年収1億円の場合、日本では所得税以外も含めた概算で納税額の合計は約5,500万円だが、シンガポールでは1,500万円で済むため約4,000万円節税できる計算になる。
18	セントビンセント及びグレナディーン諸島	Saint Vincent and Grenadines	通称セントビンセント・グレナディーンは、カリブ海の小アンティル諸島に位置する火山島のセントビンセント島と珊瑚礁のグレナディーン諸島から成る、イギリス連邦に加盟する英連邦王国の一国たる立憲君主制国家。島国であり、北にセントルシア、東にバルバドス、南西にグレナダが存在する。首都はキングスタウン。
19	スイス	Switzerland	脱税は刑事罰ではなく、民事罰となっている。
20	タークス・カイコス諸島	Turks and Caicos Islands	西インド諸島に属するタークス諸島とカイコス諸島からなる、イギリス領の海外領土。首都はタークス諸島のグランドターク島にあるコックバーンタウン (Cockburntown)。バハマ諸島の南40kmに位置している。
21	アンティグア・バーブーダ	Antigua and Barbuda	アンティグア・バーブーダは、カリブ海東部の小アンティル諸島に位置するアンティグア島、バーブーダ島、レドンダ島からなる国家である。首都はセントジョンズ。
22	ベリーズ	Belize	ベリーズは、中央アメリカ北東部、ユカタン半島の付け根の部分に位置する英連邦王国の一国たる立憲君主制国家である。北にメキシコと、西にグアテマラと国境を接し、南東にはホンジュラス湾を挟んでホンジュラスがあり、東はカリブ海に面する。首都はベルモパン。 美しい海と珊瑚礁に恵まれ、「カリブ海の宝石」と呼ばれている。ベリーズ最大の島アンバーgris・キーをはじめ、海岸線に沿って約450の離島があり、リゾート地として知られる。
23	グレナダ	Grenada	グレナダは、カリブ海の小アンティル諸島

			南部に位置する英連邦王国の一国たる立憲君主制国家である。イギリス連邦加盟国でもある。島国であり、海を隔てて北にセントビンセントおよびグレナディーン諸島、北東にバルバドス、南にトリニダード・トバゴとベネズエラが存在する。首都はセントジョージズ。
24	クック諸島	Cook Islands	クック諸島は、南太平洋ポリネシアにある24の珊瑚環礁と火山島からなる島国である。 ニュージーランドと自由連合制をとり、国民はニュージーランド国籍を有する。軍事および外交の最終的な責任はニュージーランドが有するが、主権国家と同等の内政を行い、ニュージーランド政府の事前承認を経ずに独自の外交を行っている。
25	アイルランド共和国	Ireland	アイルランド島の北東部を除く大部分を占める共和国。1649年クロムウェルの征服以後イギリスの統治下にあったが、1922年その自治領としてアイルランド自由国が誕生、37年国名をアイルランド（公式名はゲール語でエール）と改め、49年完全な独立国となり、現名。住民はケルト系で、多くはカトリック教徒。面積7万km <sup>2</sup> 。人口404万人（2004年）。首都ダブリン。
26	ルクセンブルク	the Grand Duchy of Luxembourg	ルクセンブルクは西ヨーロッパに位置する立憲君主制国家。首都はルクセンブルク市。隣接国は、南のフランス、西と北のベルギー、東のドイツである。ベルギー、オランダと併せてベネルクスと呼ばれる。 かつては鉄鋼や化学といった重工業を中心とした工業国であったが、現在では銀行業や金融サービスを中心とした金融大国である。ユーロ圏におけるプライベート・バンキングの中心地であり、世界的に見てもスイス（非EU加盟国）に匹敵する規模を誇る。デイリーテレグラフ紙によれば、金正日の持つ隠し資産の大半がルクセンブルクの銀行に預けられているという。そんな金融機関を束ねる国際決済機関のクリアストリームは、ルクセンブルクの繁栄を象徴している。また、欧州圏における再保険分野の中心地でもある。
27	モナコ	Monaco	モナコはタックスヘイブンのひとつとして知られており、（租税条約が結ばれている）

			<p>他国からの移住者の多くは億万長者である。2011年3月には、英国のシンクタンクにより、世界第51位の金融センターと評価されている。</p> <p>モナコは欧州連合の加盟国ではないが、フランスとの通商関係が緊密で、通貨もフランスと同じユーロを使用している。2002年以前はモナコも独自のフラン硬貨「モネガスク・フラン」を製造していた。現在も、各国が自由にデザインできる硬貨の裏面をモナコ独自のデザインにした独自のユーロ硬貨を製造する権利を有している。</p>
28	ナウル	Republic of Nauru	<p>ナウルは、太平洋南西部に浮かぶ珊瑚礁のナウル島にある共和国で、イギリス連邦加盟国である。国土面積は21 km<sup>2</sup>であり、バチカン市国、モナコ公国に次いで面積が小さい。また人口も、国際連合経済社会局人口部の作成した『世界の人口推計 2010年版』によると10,210人であり、バチカン市国、ニウエ、ツバルに次いで人口が少ない。</p>
29	セントクリストファー・ネイビス	Federation of Saint Christopher and Nevis	<p>セントクリストファー・ネイビス連邦、またはセントキッツ・ネイビス連邦は、西インド諸島の小アンティル諸島内のリーワード諸島に位置するセントクリストファー島（セントキッツ島）とネイビス島の2つの島からなる英連邦王国の一国たる立憲君主制国家。島国であり、海を隔てて北西にイギリス領アンギラ、東にアンティグア・バーブーダ、南西にイギリス領モントセラトが存在する。首都はバセテール。</p> <p>イギリス連邦加盟国。ミニ国家の一つである。面積と人口は共に南北中アメリカにおいて一番小さく、独立年も一番新しい。</p>
30	アンドラ	Andorra	<p>アンドラ公国は、ピレネー山中にあり、フランスとスペインに挟まれた国家。フランス大統領とスペインのウルヘル司教を国家元首とするミニ国家である。首都はアンドラ・ラ・ベリャ。</p>
31	アンギラ	Anguilla	<p>アンギラは、カリブ海は西インド諸島の小アンティル諸島はリーワード諸島にあるイギリス領の島。島のすぐ南方にはセント・マーチン島がある。面積は91 km<sup>2</sup>で、首府はバレー（The Valley）である。</p> <p>アンギラとはスペイン語やフランス語でウナギの意味で、島の形がウナギに似ていた</p>



			ことから命名されたと推測される。
32	バーレーン	Kingdom of Bahrain	バーレーン王国は、中東・西アジアの国家。首都はマナーマ。ペルシア湾のバーレーン島を主島として大小 33 の島（ムハッラク島など）から成る君主制の島国である。王家のハリーフア家はクウェートのサバーハ家やサウジアラビアのサ우드家と同じくアナイザ族出身でスンナ派であるが、1782 年以前はシーア派以外の宗派を認めていなかったサファヴィー朝やアフシャール朝の支配下にあった経緯もあり、国民の大多数をシーア派がしめる。1994 年以後、シーア派による反政府運動が激化し、2001 年 2 月に行われた国民投票によって首長制から王制へ移行した。
33	コスタリカ	Republic of Costa Rica	コスタリカ共和国は、中央アメリカ南部に位置する共和制国家である。北にニカラグア、南東にパナマと国境を接しており、南は太平洋に、北はカリブ海に面している。首都はサンホセ。1949 年に、常備軍を廃止する憲法を成立させ常備軍を持たない国となったが、同じく憲法によって非常時徴兵を規定している。チリやウルグアイと共にラテンアメリカで最も長い民主主義の伝統を持つ国であり、中央アメリカでは例外的に政治的に安定が続き、かつ経済状態も良好な、「中米の楽園」と呼ばれるほどの国家であったが、1990 年代以降は麻薬の横行により治安の悪化と社会の不安定化が進行している。
34	マーシャル諸島	Republic of the Marshall Islands	マーシャル諸島共和国は、太平洋上に浮かぶ島国。ミニ国家の一つであり、「真珠の首飾り」とも呼ばれるマーシャル諸島全域を領土とする。ミクロネシア連邦の東、キリバスの北に位置する。
35	モーリシャス	Republic of Mauritius	モーリシャス共和国は、アフリカの国家で、イギリス連邦加盟国である。首都はポートルイス。インド洋のマスカレン諸島に位置する共和国である。インド商人の貿易中継地になっていたためインド系住民が過半数を占める。
36	セントルシア	Saint Lucia	セントルシアは、西インド諸島のウィンドワード諸島中央部に位置する英連邦王国の一国たる立憲君主制国家で、イギリス連邦加盟国である。島国であり、海を隔てて北

			にフランス領マルチニーク、南にセントビンセント・グレナディーン、南東にバルバドスが存在する。首都はカストリーズ。
--	--	--	----------------------------------------------------------

## コーラスの楽しみ方について

玉木宏樹遺作

コーラスの語源がギリシャ悲劇にあるということはみなさん御存知でしょうが、コーラスは、ドラマの進行をつかさどる重要な「語り部」であったということは、忘れられがちです。やがて、「グレゴリオ聖歌」の時代になり、コーラスは「神」への「語り部」となりました。どこでどう枝分かれしたのか、日本でも「声明」という、「グレゴリオ聖歌」とよく似た合唱があります。

振り返ってみて今の日本のコーラスの現状を見るに付け、「語り部」の重要な要素、つまり「言葉」をつたえるということが少しおろそかにされているのではないかと思え、残念でなりません。

さて、「グレゴリオ聖歌」も「声明」も基本はユニゾンです。では、現在のコーラスの重要な要「ハーモニー」はどのようなふうに進化したのでしょうか。それは、天井の高い石造りの教会のなかで歌う「聖歌」のユニゾンが、天国的な倍音の美しさを生み出し、それに気づいた人達が、恐るおそる、声部を増やしていったのです。最初は、オクターブユニゾンであり、次は、完全五度の平行でした。そして「ドミソ」のハモリの天国的な美しさに到達したのです。

ところで、この天国的な「ドミソ」のハモリは、今のピアノやオルガンに使われている、「平均率」の調律では絶対に不可能な音程だということに気づいていない日本人が多すぎるのには驚かされます。なぜなら、多くの人々が、ピアノで音程を訓練しているからです。「平均率」は確かに便利な調律ですが、その便利さのために、和音の美しさを犠牲にしているということは、ヨーロッパの人達はよく知っているので、コーラスをピアノの音程で訓練するなどということはしません。それぞれのパートが、自分たちの耳で、ハモリ訓練をするのです。ソルフェージュの基礎訓練の書「コールユーブンゲン」の前文で、この教則本は決して「平均率」のピアノで音程をとってはならないと書かれていることに注意を払っているひとがどれだけいるのでしょうか。

今後のスケジュール

【合唱と純正律音楽コンサート】

2016年9月17日土曜日 14時開演

会場：新宿文化センター(小ホール)

出演：水野佐知香(Vn.)、三宅美子(Hp.)、吉原佐知子(箏)  
早稲田大学合唱団有志、洗足学園大学声楽家学生有志  
入場料：前売り 3,000 円 (当日券 3,500 円) 小学生 1,000 円



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。  
〒168-0072

東京都杉並区高井戸東 3-2-5-102 NPO 法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5317-0291 FAX：03-5317-0289

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp

<http://just-int.com/>

平成 28 年 5 月 11 日 発行責任者：NPO 法人 純正律音楽研究会

編集：相坂政夫